

県内取組事例

事業者：米良電機産業株式会社（宮崎市別府町4番33号）  
 資本金：授權資本3億円、払込資本1億円 業種：電機設備資材販売 従業員数：106名

クラウド データ化

事業名：ワークフローのデジタル化事業



承認プロセスの効率化・時間削減を実現し、有効に活用できる情報のデータベース化を推進

【概要】

- 紙媒体で実施している各申請業務をデジタル化し、データ活用経営にむけたデータベースの構築を行う。（DX推進第1フェーズ）

【主な取組】

- 定型帳票（28帳票）及び不定型帳票のデジタル化
- 独自業務フローにあわせたワークフローシステムの構築による生産性向上

【事業の目標】

（定性目標）

- 各報告／申請業務を効率化し、従業員の生産性向上を実現（DX風土醸成）

（定量目標）

- （情報セキュリティ対策（SECURITY ACTION宣言）について）  
→SECURITY ACTION宣言を2024年1月に取得
- （労働生産性について）  
→労働生産性年1%以上の向上

【取組を行う背景】

- 日次／週次／月次／随時の頻度で作成する各帳票が、全支店合計で年間6万6千枚以上発生しており、用紙代・印刷代・FAX 通信費・保管廃棄代の削減が求められている。加えて、紙媒体での運用となっており、状況に応じて必要となる統計資料の作成や過去の資料を探す場合に時間が掛かっており、業務負荷が高い状態となっている。

【効果（成果）】

- 申請～承認～承認完了迄に係るリードタイムが 25%以上削減
- 28帳票に関連するアナログ作業時間が 50%以上削減
- 現状の各帳票印刷枚数と比較して 60%以上削減のペーパーレス化

【本事業終了後の展開・展望（今後3ヶ年程度の後年度負担 等）】

- 用紙／FAX 送信等のコスト削減、および顧客接点時間の増加による顧客満足度向上を実現し、営業利益増加を推進（1年目）
- 用紙／FAX 送信等の更なるコスト削減、およびデータ活用による営業展開によって顧客単価向上＋新規顧客獲得を実現し、営業利益増加を推進（2年目）
- 物流や配送などのロジスティクスを最適化や、販売データ分析を行い適切な需要予測を行うことで効率的な在庫管理を推進（3年目）

